

テニスがもっと快適になる

第14回

ストリングの基礎知識

From テニサポ



知っているようで、あまり知られていないストリングのこと。このコーナーでは、読者から寄せられた素朴な疑問を、プロのストリンガーに答えてもらいました。皆さんのテニスライフの向上に役立ててください！

解説=松本雅浩(テニスサポートセンター渋谷店)
学生時代にテニスを始め、無類の道具好きが高じて現職に。英語のほか独語や仏語も再勉強中で海外の方にも対応する。ストリンガー歴13年
写真=テニスサポートセンター、Getty Images

【今月のお題】プロ選手の好む張り方と、ナイロンとポリのテンション維持率の違い



縦糸と横糸を異なる種類の糸で張る「ハイブリッド張り」。(写真上)弊社ブランド「WINNING SHOT」の契約プロ、ガルシアロペス選手(写真下)もそうだし、フェデラー選手もこの張り方だ



プロ選手の間ではやっている張り方や、その理由を教えてください。
(テニス歴4年/男子高校生)

ハイブリッドの特性を理解しよう

店頭でプロ選手に「ハイブリッド張り」がはやってることをご案内すると、じゃあ、〇〇選手と同じハイブリッドに、とオーダーを頂くことがとても多いですが、プロと同じセッティングにすることで生じる長所と短所は知っておいてください。プロ選手が「ハイブリッド張り」をする一番の理由は、同一のストリングでは出せない打球感やボールの飛び、伸びなどを得られるからです。しかし、縦糸と横糸で材質や構造、太さが違うため、テンション変化の差が縦糸と横糸で、時間が経過するほど、大きくなります。そのために、張り上げてから時間が経つと打球感やボールの飛びなども最初の状態とはかなり変化してしまいます。

そこで、プロ選手たちは、本当に

おいしい期間。(最近では試合中に張り替えることも)のみ使用しています。「ハイブリッド張り」を頼む場合は、最高の状態で使うためにプロのように切れる前に張り替えてもらった方がいい場合もあります。ぜひ、お店でストリンガーと、プレーの頻度やどのような打球感が欲しいのかなどを相談してください。

2本張りも増えている

通常、当店は特別な断りがない限りは、同一のストリングの場合、1本張り(縦糸と横糸を分けて)にひとつながりのストリングで仕上げる)にて張っています。しかし、プロ選手の間では近年2本張りにする選手も増えています。ではなぜ、選手に2本張りが増えているのでしょうか。

以前、プロ選手や関係者に店頭でお話を伺いましたが、海外の試合へ遠征した際、イメージと違った張りがりて試合をしなくてはならないという理由が大きいそうです。例えば、仕上がったラケットのストリングがスタスタ、ノットの位置がバラバラ、というのでは試合に集中できません。加えて1本張りは同一のストリングで最後まで仕上げるため、

途中で糸を傷めるリスクが比較的高いほか、張り方のパターンも複数存在し、個人のスキルにも左右されやすいのです。このため、なるべくシンプルな張り方で、仕上がりが均質化しやすく、比較的安定するものを追求した結果が、2本張り。だったと言えるのかもしれない。

しかし当店では、通常は1本張りです。それは1本張りには1本張りの良さがあるからですが、それはまた別の機会にご紹介いたします。

ナイロンとポリでテンション維持率がどのくらい違うのか、数値でわかりますか?
(テニス歴20年/男性)

ナイロン系はなだらかに低下

近年では、ナイロン系とポリエステル系において、各メーカーの研究開発が活発なため、ここでは、ごく一般的な例としてお答えします。

まず、ナイロン系ですが、1カ月経過時のテンションは約90%前後へ低下し、2カ月後には80%前後、3カ月後には70%前後まで低下する傾向にあるようです。

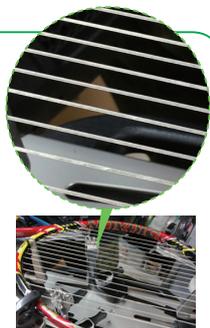
一方のポリ系は、最初のテンション変化がより大きく、張り上げた直後から低下が始まり約2週間以内に90%前後、1カ月後には80%前後へと低下する傾向にあります。この後の変化は比較的なだらかですが、2カ月後には70%前後、3カ月後には60%前後となり、時間の経過とともに

ストリング都市伝説

2本張りやハイブリッドを1本だけ交換する

ダメです。テニスラケットは縦糸から張り上げるように設計されているため、特に「縦糸のみ」取り替えようとするラケットの破損につながり大変危険です。絶対にやらないでください。また、横糸のみの張り替えもお勧めできません。ストリングのテンションは張った時期や材質、形状、太さなど多種多様で、伸びきってルーズにな

るまでの期間も製品ごとに異なります。たとえ、縦糸と横糸が全く同じ製品であったとしてもストリングの状態が全く違うため、ラケットやストリングが本来持っている性能を発揮できません。もしもストリングが切れてしまったら、その時は全て張り替えましょう。



に最初のテンション設定からはほとんどかけ離れていきます。特にポリ系のストリングは、切断耐久性には優れますが、長期間連続しての使用は想定されてきませんでした。しかし、昨今プロの選手がこぞってポリ系を使うことから、憧れもあって張る人も増えています。そこで、ケガなどのリスクを軽減するために、製法や添加物を工夫することでテンション維持性能を改善したり、打球感をより柔らかくしたりした製品も登場しています。